

奨励賞



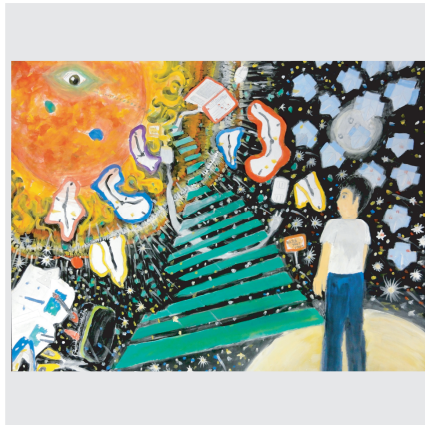
「麒麟」 加納 里江
堺市立美木多中学校

奨励

加納さんの作品は非常に味のある画面作りが強烈な異彩を放っています。

カンディンスキーの抽象絵画とも通じるような画面構成の中には、幾何学模様が大胆な線ときれいな色調で浮かび上がり、センスよく抽象化された麒麟が歩いています。画面上部に浮かぶユニークな太陽も、この絵の大きな魅力になっています。

見ていると音楽が聞こえてきそうな、がちやがちやと音を立てて今にも絵全体が動き出しそうな、非常に楽しい作品に仕上がっています。ひとつの世界が加納さんの中で成立しているように思うので、絵本やアニメーションなど、絵画以外の媒体にもチャレンジしてみてくださいですね。



「道へと前進～未知へと漸進～」
筒井 洋貴
堺市立中百舌鳥中学校

奨励

筒井さんの作品は、画面全体を通して伝わってくる力強いメッセージ性が素晴らしいです。

右下にたたずむ少年の視線はいったい何を見つめているのでしょうか。果てしなく続く緑の道の周りには、ゆがんだ時計、電子機器、「Don't stop!」と書かれた標識など、様々なものが浮遊し、それらは今まさに未知なるものに足を踏み出そうとする少年を見守っているかのようです。

奥の大きな星についている目も非常に存在感があり、少年との間に緊張感が生まれ、ドラマチックな作品に仕上がっています。未知の世界への不安や期待感を感じさせてくれました。

これからもこの勢いを大切に、思い切った作品づくりをしてほしいと思います。



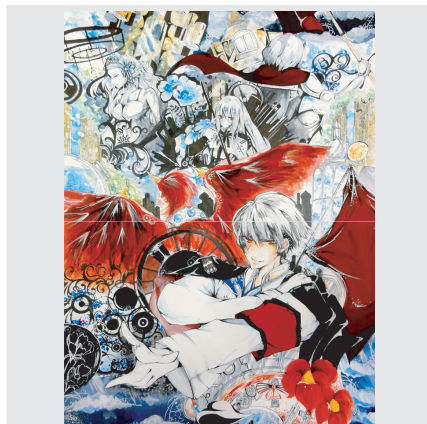
「滑稽な世界で」 野一色 優美
大阪市立昭和中学校

奨励

大胆で力強い色彩で構成された画面、それを引き締める黒の輪郭線が印象的な作品です。主人公が腰掛けるこの世界は一体どんな世界なのでしょうか。不思議な色をした見たことも無い植物、空に漂うたくさんのものたち、いくつもの針がある時計。親しみやすくポップに描かれていながらも、その世界はシュールレアリスムに通じる独特の世界観を醸し出しています。

そして猫の耳を生やした少年は、自分の世界へ誘い込む様な表情でこちらをみつめています。

きっと野一色さんの頭には、この絵画表現にとどまらず、素敵なストーリー展開が浮かんでいることでしょう。キャラクターの魅力、独特の世界観、作画のていねいさ、全てにおいて完成度が高い作品です。



「イツノ世ニモ革命ヲ。」 山根 栄子
藤井寺市立藤井寺中学校

奨励

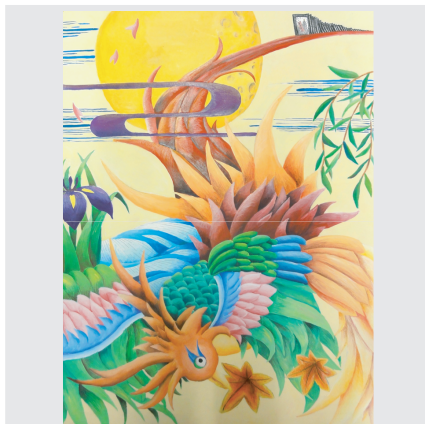
深紅の旗を持ち、指をさしながらこちらを見つめる手前の人物は、この世界の指導者でしょうか。

それに呼応するように大きな羽を広げている赤い鳥、赤い花。

このままマンガや小説の表紙になってもおかしくないほど構成が練られ、見る人に壮大なストーリーを思い起こさせます。

またキャラクターの線にも強弱をつけることで画面に動きと奥行きを持たせることに成功しており、迫力ある筆遣いはこの作品のテーマと合致しています。緻密に描かれた画面からは山根さんの粘り強さも伺えます。

「革命」というかなり難しいテーマですが、動きある人物たちを破綻させることなく、一枚の絵に描き切った作者の構成力に感嘆しました。



「風雅」 能登 都
堺市立三国丘中学校

奨励

自然の風靡を、大胆な色彩と独特な感性で描き切った作品です。

月夜を舞う極彩色の鳥、風の音も聞こえてきそうなゆるやかな空気の流れ。日本の伝統的な美が、能登さんの感性を経て優美に舞っています。描写力にもすぐれ、一枚一枚描かれた羽に見られるような丹念な陰影表現、バランスよく散りばめられた絶妙な配色、ていねいな筆遣いから、描くものに対しての能登さんの真摯な姿勢が感じ取れます。

月夜であれば暗くしがちな背景にも、明るい黄色を使っている大胆さにも驚かされました。

この一枚から、能登さんの作品に対する姿勢、独特な感性など、様々なことが伝わってくる作品です。